

福井県高次脳機能障害者と家族の会

ふくわらい

福笑井

第 27 号

2022 年 4 月 13 日発行

福井県高次脳機能障害者と家族の会

「福笑井」事務局

## 2021 年オンライン全国大会への参加

村下 恵美子

今年の冬は例年になく寒い日が多く、私の住む大野市は降雪量も半端なく、2月には全国で一番多い雪の量だとテレビで放送され、知らない方からも大丈夫ですかと心配されました。また、コロナのオミクロン株も異常な広がり方で不安な日々が続きましたが、皆様におかれましては、お元気にお過ごしでしょうか？



さて、昨年は中止となった全国大会ですが、本年度はオンラインの形で開催されました。2021年10月2日(土)9:30~14:30に午前と午後の2部構成で行われました。

オンラインで一日参加するとさぞかし疲れるだろうなと受ける前は思っていたのですが、真逆でした。午前中の難しいシンポジウムの内容は、自宅でリラックスして聞けたので理解が深まりました。会場にいるのとは違い、緊張感がないのもオンラインのいい所ですね。

さまざまな現実と課題、支援法制度って？難しくても自分の事として考え、自分達の出来るところで声をあげていく……。大切な事をしっかり聞くことが出来ました。午後は各地の家族会のアンケート調査報告や活動の話聞かせてもらいました。



コロナ禍での現状や、感染したら当事者はどうなるのか等、不安なことのアンケート調査。我が家だったらどうだろうと考えさせられる問題です。また、オンラインによる家族会の実施の発表もあり、工夫されていることも分かり、真似てみたいこともありとても良かったです。他県のみなさんから元気をもらい、明日からも頑張ろうと思えた一日でした。



オンライン  
開催

2021年  
オンライン  
全国大会

2021年

10月2日(土)

9:30~14:30 (開場9:00~)

今年はオンラインにて開催いたします

第1部

シンポジウム

「高次脳機能障害支援法制定に向けて」

深津 玲子氏

(国立障害者リハビリテーションセンター高次脳機能障害情報・支援センター長)

渡邊 修氏

(東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科教授)

鈴木智敦氏

(名古屋市総合リハビリテーションセンター副センター長)

片岡保憲氏

(日本高次脳機能障害友の会理事長)

中村千穂氏

(高次脳機能障害の子どもをもつ家族の会ハイリハキッズ代表)

第2部

各地の家族会 活動紹介

お問い合わせ／脳損傷友の会コロポックル

TEL:011-858-5600 FAX:011-858-5696

E-mail: koropokkuru@mail.goo.ne.jp

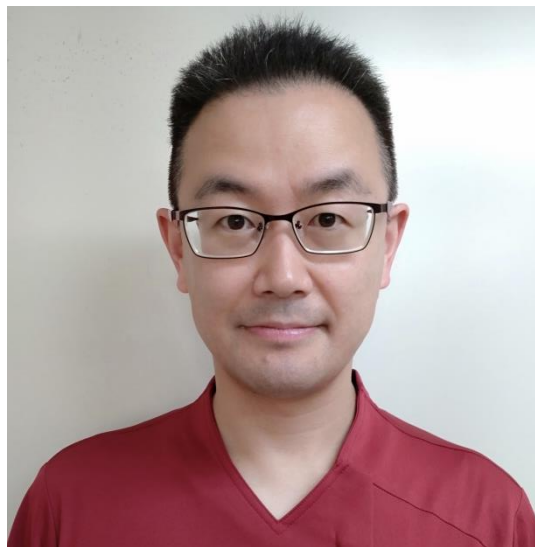
主催／2021年オンライン全国大会開催実行委員会

(委員長:日本高次脳機能障害友の会理事長 片岡保憲)

## 福井県高次脳機能障害支援センターからのお知らせ

みなさま、こんにちは。  
4月1日より、高次脳機能障害支援センターのコーディネーターに就任しました、富田と申します。

初代、2代目の働きぶりを間近で見てきた私にとっては、コーディネーターの職というのは非常に重責であると感じております。しかし、そんなお二人を見てきてからこそ、コーディネーターのやりがいというのを感じております。



これから様々な局面に際して、色々とお迷惑をおかけすることとは思いますが、精一杯職務を全うしたいと思っておりますので、みなさまからのご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

高次脳機能障害支援センター 富田浩生

# お世話になりました！



こんにちは。いつもお世話になっております。支援コーディネーターの中島です。

この度急な人事異動で、9年間勤めた高次脳機能障害支援センターから、同じ法人内の福井医療大学へ4月1日付けで異動となりました。急な話で皆さんにはご心配お掛けしますが、後任の富田も長年高次脳機能障害支援センターに携わっているスタッフの一人なので、ご安心いただければと思います。

私が高次脳機能障害の方の相談支援に長年携わる中で、日増しに強く思うようになったことは、当事者・家族会の存在です。当事者同士、家族同士の支え合い（ピアサポート）は、長期に渡り高次脳機能障害とお付き合いしていく上では絶対に欠かせません。これは、医療機関や医療従事者では出来ないことです。当事者・家族の活動は、同じ当事者・家族の支えとなり、県や全国の支援のうねりへと繋がります。今後も益々会が発展していけるよう、支援センターはもちろん、私も陰ながら応援させていただきます。

またどこかではお会いすると思いますので、その時はぜひお声掛けください。

9年間本当にお世話になりました！



2013年（27歳頃？）の中島



現在の中島（←嘘、30歳前半頃かと…）

## ピアサポート研修会に参加して①

K.H

### R3年度 第2回 R3.9.26 (日)

今年度2回目のピアサポート研修会が、Zoomによるリモート会議で行われました。  
(参加者7名 富山県含む)



#### 1 はじめに、伊藤先生より前回の確認

安心して話せる場を作ること。話すことで（元通りにはならないが）同じ痛みとして共有できると、自分の「回復の物語」が出来て強さも出てくる。

- ・まず聴いてみる。受け入れて聴く。（傾聴、受容）
- ・話し手の苦しみを認めて、アドバイスを焦らない。
- ・経験は多様性あり。自分とは違う場面もあるし、共通点もある。

#### 2 事例報告、私の体験談をパワーポイントで報告

18年前、夫が56歳で交通事故。手術を受け3カ月入院、通院も2年以上続け努力したが、記憶障害や社会的行動障害の高次脳機能障害が残った。障害を受け入れつつも、朝と夕の散歩を中心に毎日の日課を規則正しく送り、地域の中で生きていけるように夫を励まし支えている。

#### 3 質問、意見など

- ・入院中にソーシャルワーカーに相談支援を依頼して良かった。
- ・退院後の生活の安全面など工夫している。
- ・白板など、連絡事項を確認できている。
- ・他の組織（警察、町内）との連絡や協力を得ることも大事である。

#### 4 感想

事例を提案することは、自分なりの体験（物語）を整理し、考えることができた。まとめると心の整理もでき、夫の障害を受け入れつつ前向きになれた。ピアサポートを受ける側としては、自分の大変さをまず共感して聴いてもらう事が一番。心が安定し、安心してコミュニケーションがとれたと思う。

これは余談ですが、先日、黒川伊保子さんのAIによる円滑なコミュニケーションの取り方の講演会を聞いた。AIによる分析でも相手の気持ちを考えて、まず「いいね」と同意し「でも別の考え方もアリよ」と会話した方が良いらしい。

ピアサポートやピアカウンセリングもAIで分析すると尚良い方向に向かう、そういう時代が間近に迫っているのかもしれない。

## ピアサポート研修会(9/26)に参加して②

A.A



講師：富山大学人文学部教授 伊藤智樹先生

テーマ：高次脳機能障害の家族が語る物語の可能性

—多様な経験をもとに語り合う—

伊藤先生による研修会は2年目、今年度2回目を迎えました。

今回のテーマは「ピアサポーターは語り手として自分の体験をどのように役立てることができるか」でした。

今までも例会の場で、全体あるいはグループで自分の体験を発表する機会はありましたが、今回の研修では、ピアサポーターの立場として自分の体験をどのように役立てることができるかを学びました。来談者はそれぞれに様々な経験を持っていますが、サポーターの自分の物語を通して共通部分を橋渡しし、お互いの苦しみの存在を認め合うことができるということでした。ですが、ピアサポーターはそれぞれ限界を有しており、自分がすべてを対応できるとは考えないことや、苦しみの存在をきちんと受け止めたことを表現することが大切とのことでした。

「家族の物語を育む：Hさんの体験談を聴く」では、ご主人が交通事故で入院されてから今日に至るまでの長い道のりを、様々な場面から発表していただきました。入院した時、退院を促された時、退院後の家庭や地域での生活など、共感することばかりで、自分の体験と重ね合わせ改めて胸が熱くなりました。

私達が福笑井に入会した当時は、ご主人はまだ階段の昇り降りなどおぼつかない様子でしたが、今では私達と登山を一緒にできるまでに回復されて、とてもうれしく思っています。

私の夫が入院している時にスタッフの方から「今は赤ちゃん、これから薄紙をはがすようにちょっとずつよくなりますよ」と励まされたことを思い出し、実感しています。病気になって出来なくなったことも多いけれど、新しく得たものも多いなあと感じています。



## ピアサポート研修会(11/28)に参加して③

A.A

講師：富山大学人文学部教授 伊藤智樹先生

テーマ：高次脳機能障害の家族が語る物語の可能性

—多様な経験をもとに語り合う（続）—

今年度3回目のリモート  
による研修会です

最初に、アイスブレイキング（堅い雰囲気砕き、参加者の心をほぐす役割）の場を設け、班ごとに「最近ちょっと楽しかったこと」を発表しました。



次に、前回の内容を振り返り、  
①安心して語れる場と「まずは聴く」ことの重要性、  
②語り手としての自分の体験をどのように役立てるか、  
を確認しました。また、昨年度のおさらいとして、守秘義務について確認しました。来談者のプライバシーを守ることにより信頼関係が構築されることでした。

ピアサポート活動で聴いた話は、誰にも話さないことが原則ですが、情報の共有範囲をはっきりさせておくことが大切で、情報を共有する人は、守秘義務に関する教育や研修を受けた人であることが前提です。

最近の動向として、家族だけでなく本人同士のピアサポート活動が注目されているとのこと。

「家族の物語を育む：Nさんの体験談を聴く」では、突然の入院から、転院、リハビリと、奥さんのその時の気持ちを聴きながら（最初の頃はどんなにか心細かったでしょう！）、当時の自分の気持ちがよみがえってきました。

障害に対するいろいろな対策や、奥さんの気持ちの持ち方、  
①過去は「過去」今を生きる方が大事、②ありのままの姿、  
現実を受け止める、③家事を手伝ってくれることに感謝「ありがとう」、  
④日々の生活を楽しむ、このように前向きな気持ちで生活できているのはとても素晴らしいと思いました。



# 半年ぶりの福笑井例会

R. Y

福笑井 例会が、12月12日(日)「はたや記念館ゆめおーれ勝山」で、行われました。コロナの為、半年ぶりです。

昭和時代に機織りしていた建物で、手織でコースター作りとまゆ玉クラフト体験をしました。コースターは自分で糸を選びオリジナル作品を作ります。糸を通してトントンと板をひくと、少しずつ布が織れてきて、楽しくてずっと続けていたかったです。夫は、水色ラメ入糸を選んだので、西条秀樹のステージ衣装みたいなコースターができたので笑えました 😊

終わってから場所を変えて、参加者でランチをしました。コロナも落ち着いていましたので、感染対策をしながら、久しぶりに顔を合わせて、会食を楽しみました。

コロナ禍に「不要不急」とされた、おしゃべりや会食やさまざまな体験が、いかに人にとって必要な時間かということに改めて気付かされました。

あの例会から、3ヶ月余り...

年明けからオミクロン株が蔓延して、福井県でも連日の数百人を越える感染者が報告され「まるで戦時中やな」と思っていたらロシアがウクライナに侵攻して、ますます不安を募らせています。

一刻も早く、コロナと戦争が終結して、またみんなと笑顔で会いたいです。





## 赤い羽根使途選択募金に ご協力の感謝とお礼



会長 村下恵美子

赤い羽根共同募金会を通して福笑井へ寄付をお願いする使途選択募金ですが、今年もコロナ禍の中ではありますが、1月～3月の期間で行いました。

たくさんの皆様にご協力頂いて、目標を上回ることが出来ました。

深く感謝致しております。ありがとうございました。

皆様からお寄せいただく温かいお気持ちや、心のこもったメッセージにいつも勇気づけられます。

メッセージの一部です。

- ・コロナ禍での大変な時ではあるけれど、  
大声で話し、活動できる日がくると思います。
- ・頑張ってください。
- ・応援しています。
- ・笑顔が増えるように少しですが寄付させていただきます。
- ・少しばかりの気持ちです。活動のお役に立てれば幸いです。
- ・福笑井の会に参加できる日が一日も早く訪れて欲しいと願っています。
- ・アルバイトをしましたので、心ばかりの応援です。 etc…



不安や心配事の多いのは皆様同じにも関わらず、私共の会を応援して下さる気持ちを大切に思い、活動したいと思います。

日々の暮らしに笑顔が増えるよう頑張ります。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

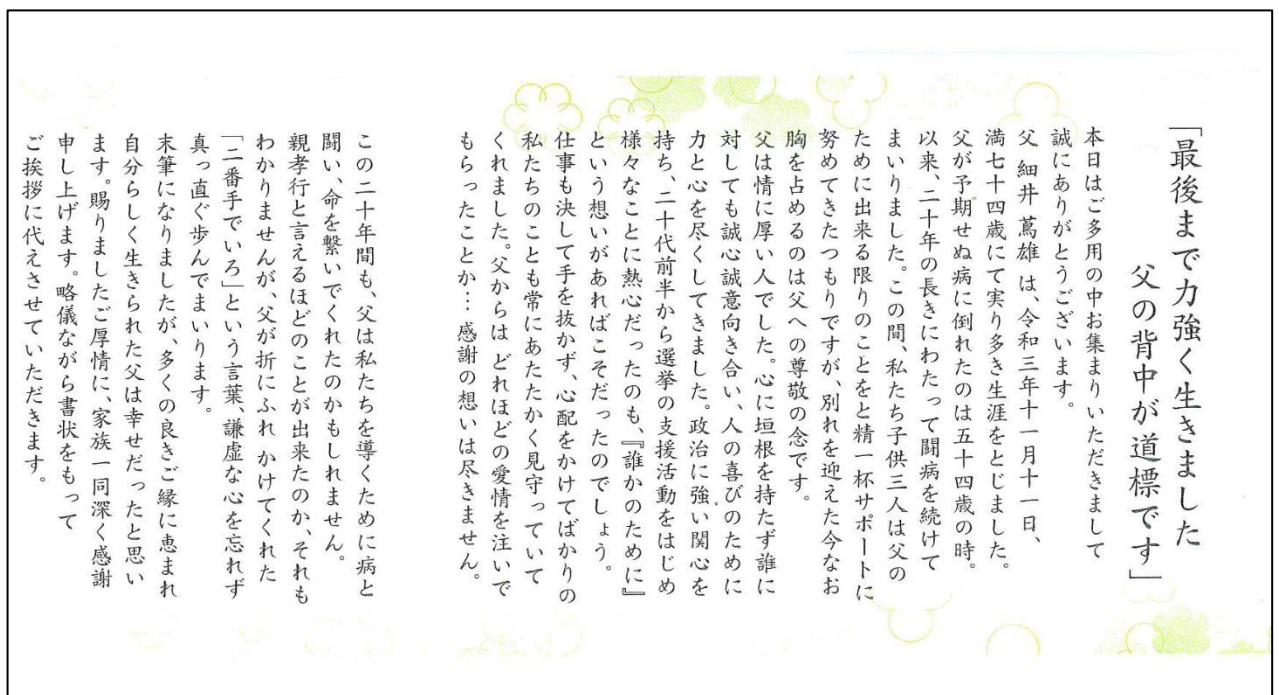
赤い羽根使途選択募金にご協力ありがとうございました



(敬称略)

原田恵子 (株)村下建築 村下修一 棟朝京美 島田善一 吉村英治・晴美  
野尻和美 藪時夫 田中建邦 菱田和代 高松俊裕 竹内誠治 南部庄栄  
吟舞を愛する会代表加藤千枝子 (株)清水設備 東野薫 (株)奥越公益社  
北岑武夫 (株)坪内建設 佐々木泰子 細江千津恵 五十嵐千里 林原勇夫  
松原洋子 谷口由紀子 林勝義 (有)マルダイ保険企画 山崎悟 辻新馨  
島田幸夫 上道澄子 平井清子 中村正治 北村みどり 広岡みゆき  
吉川伸一 杉本和代 山川しげ子 村下司紗 坪内翔二郎 三寄霊証  
脇本正則 櫻田次夫 荒井敏勝 本多学 畑勝 (株)ノエビア加越販社  
野村秀雄 (株)西川建築設計事務所 山崎知代美 佐藤常子 柳瀬千恵  
村口多喜子 高畑富雄 加藤礼子 村下恵美子 大野住宅産業 湯浅和幸  
小崎八重子 伊藤智樹 道下千恵 佐々木浩二 越田実千代 (有)マルダイ自工  
三河文代 笑いヨガサークル福井平林幸二 勝矢加代子 山栄子 小林康孝  
中央共同募金会 大南建設工業(株) 服部秀子 南部統美 市川康 中村英一  
松田由紀子 佐野康子 竹内政信 柴田邦雄 内田武志 瀬川和彦 上田廣志  
織田新一 村下心虹 山内廣志 山崎高春 古川幸子 古川忠雄 前田電気(株)  
M建築板金工業所 長谷川大士 山村美智子 石田優 福島稔 水林志保子  
西史司 山口静枝 (株)そうごう建装舎 岡田和代 多田久美子 豊実精工(株)  
水元としみ 坪川智美 福井そうごうクリニック募金箱

福笑井の会員 細井さんのご主人が11月11日にお亡くなりになりました。  
謹んでご冥福をお祈りいたします。



賛助会員のご協力ありがとうございました！

中島 裕也様

### 🌸 会員募集中！！🌸

「福笑井」は、高次脳機能障害者および家族が、生き生きとした生活ができるよう、福利と親睦を図り、社会に対して働きかけ、高次脳機能障害について理解を広めることを目的として作られた会です。

皆様の入会、応援、ご協力をお待ちしています。

年会費 正会員家族：3600円 賛助会員：2000円